JETプログラムが結んだ、二人の未来への協奏曲

～秩父から世界へ、未来を運ぶ絆の物語～ ②

(株)スマートビジョンロジスティクス CIO（元(一財)自治体国際化協会多文化共生部長） 横田　宗親

はじめに

前号では、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）が結んだGLEN WOOD氏と中沢辰彦氏の「ご縁」と、会社設立の物語をご紹介しました。今回は、異なる強みを持つ2人の協業の秘訣とJETプログラムが育んだ絆の真価についてお届けいたします。

JETプログラムが懸け橋となった「ご縁」を力に未来を拓く

(株)スマートビジョンロジスティクスは「世界初のカーボンニュートラル物流企業」を目指し、持続可能な物流に取り組んでいる。GLEN氏がCFO、中沢氏がCEOとして、それぞれの強みを生かし、会社を牽引する。

GLEN氏は、金融業界で培ったグローバルなネットワークと、ALT（外国語指導助手）やクレアなどでの経験を生かして主に会社の経営戦略やマーケティングを、一方、中沢氏は、運送業界での豊富な経験とネットワーク、迅速かつ柔軟な決断力で、主に事業の推進を担う。「お互い独創的な考えを持つ二人が話し合うことで、新たな視点が生まれる」とGLEN氏は語る。これまでに一度も喧嘩をしたことがないという二人の間には、強い信頼関係と、同じ目標に向かって進む「以心伝心」の絆がある。社員を大切にするという共通の価値観も、二人の会社経営の根幹をなす。社員の仕事だけでなく、人生そのものを豊かにしたい、そして社員の家族の幸せを導く、それが二人の願いだ。

JETプログラムが生んだ奇跡

「JETプログラムは、私にとって人生の仲人だった」、GLEN氏はそう語る。JETプログラムがなければ日本に来ることも、ビジネスパートナーである中沢氏と出会うこともなかっただろう。

その言葉は、筆者自身の経験とも重なる。旧自治省（現総務省）でJETプログラムに携わったことで、当時クレアに在籍していたGLEN氏と巡り合って30年来の友情を育み、中沢氏とも巡り合う奇跡を経験した。そして今、二人の志に共鳴し、その会社に身を置いていること自体が、まさにJETプログラムが生んだ新たな「ご縁」の証である。この奇跡の物語を、筆者として記せることに深い喜びを感じている。

JETプログラムは、単なる外国語教育や地域国際化を超え、運命的な出会いと深い絆を育み、新たな価値創造をもたらす力を持っている。GLEN氏と中沢氏、そして筆者の物語は、その真髄を雄弁に物語る、生きた証しである。

「ご縁」を大切に、未来を創る、社員とともに歩む、スマートビジョンロジスティクス！

「ご縁」を未来へ

GLEN氏はJETプログラム関係者にメッセージを送る。「JETプログラム参加中は常にチャンスが潜んでいる。未知の出会いや経験が未来を切り拓く原動力となる。恐れずに挑み続けてほしい。苦しい時もそれを経験と捉えて乗り越えれば、必ず輝かしい未来が待っている」。その言葉は、JETプログラムの可能性と未来を担う若者への期待に満ちている。

おわりに

これまで２回にわたり、JET プログラムが育んだ GLEN 氏と中沢氏の固い絆、そして挑戦の軌跡を辿りました。秩父で生まれた信頼の種は、「世界初のカーボンニュートラル物流企業」を目指す挑戦へと形を変え、今も未来へ向かって進んでいます。

JET プログラムは外国語教育や地域の国際化の推進にとどまらず、人と人を深く結びつけ、新たな価値を生み出す原動力にもなり得ることを二人の物語は示しています。

人生お一人様一回限りです！ この GLEN 氏と中沢氏の物語から勇気をいただいて、皆様も自身の可能性を信じて、新たな未来への扉を開いてみませんか？!

「以心伝心」の絆で結ばれた二人。二人の協働が革新的な物流を創造する。
（左が中沢氏、右が GLEN 氏）

（株）スマートビジョンロジスティクスについて

人と人とのご縁を大切にするように、地球とのご縁も大切に、「カーボンニュートラル」「循環型物流」をキーワードにして持続可能な社会づくりに貢献する、革新的な物流サービスを提供しています。詳しくは以下からどうぞ。

プロフィール

横田　宗親（よこた　むねちか）
1987 年に群馬県庁に入庁後、1989 年に自治省（現総務省）に入省。国際室・財政課係長、宝塚市行財政改革担当部長、さいたま市財政部長、クレア多文化共生部長等を歴任。国際室係長時代に当時クレアに在籍していた GLEN 氏と出会い、30 年来の友情を育む中、中沢氏とも巡り合い、二人の熱い志に共鳴、GLEN 氏から背中を押されて 2025 年３月に総務省を早期退職、同年４月より現職。

GLEN 氏・中沢氏の挑戦の核となるのが、このビジョン、ミッション、そして私たちが日々実践するコアバリューです。効率性や信頼性、SDGs への貢献はもちろんのこと、社員一人ひとりの笑顔と、お客様との温かいつながりを何よりも大切にしています。これらすべての価値観が、私たちが目指す「世界初のカーボンニュートラル物流企業」への揺るぎない道しるべです！